

H25 年度第 2 回適正利用・エコツアーリズム検討会議

資料 5-2 「適正利用・エコツアーリズム検討会議の今後の運営について」

【R5 年 1 月末時点修正案】

適正利用・エコツアーリズム検討会議の今後の運営について

【検討会議における主要な議題】

今後は戦略に基づく議論の仕組みを適正に運用していくことが基本。想定される主要な議題は以下の通り。

- ① 地域関係団体等から出された提案の取り扱いの検討及び提案に関する部会設置の承認
- ② 部会の検討状況の報告
- ③ 提案実施の最終承認
- ④ 実施されることとなった事業等の状況の報告
- ⑤ 各種モニタリング結果の評価
- ⑥ その他（知床の利用に関する課題 等）

【検討会議の構成】

- 検討会議の構成メンバーは別紙のとおり。座長は専門家（適正利用・エコツアーリズムワーキング委員。以下同じ。）より選出。事務局は釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道が担当する。
- ~~○ 専門委員は、委員の専門分野以外の提案がされた場合等に、必要に応じて参加。~~
- 必要に応じて、委員→専門委員→専門家以外の有識者、利害関係者等の個人・団体・行政機関に参加を要請することができる。

【構成メンバーの役割】

- 地域関係団体、及び関係行政機関は必要に応じた事業等の提案、実施されることとなった提案への支援、提案実施の承認の判断等を実施する。
- 座長は合意形成に努めつつ、会議の進行を担当担う。
- 委員及び専門委員→専門家は、それぞれの専門分野に関する知見をもとに科学的な立場から助言を行う。

【開催回数】

- 提案に基づき議論するため、提案の提出状況に応じて、検討会議を年 1～2 回程度開催する。

【部会の設置】

- 提案の実現可能性の具体的な検討等のため、必要に応じて部会を設置。議題に関連す

る検討会議構成メンバーが参加する。

~~○ 専門委員は、委員の専門分野以外の提案がされた場合等に、必要に応じて参加。~~

○ 必要に応じて、委員・専門委員・専門家以外の有識者、利害関係者等の個人・団体・行政機関に参加を要請することができる。

(別紙)

知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議 ~~委員及び構成団体構成員~~  
一覧

1. ~~委員専門家~~ (適正利用・エコツーリズムワーキング委員)

- 敷田麻美 ~~北海道大学観光学高等研究センター~~  
北陸先端科学技術大学院大学 教授 ~~【座長→委員】~~
- 愛甲哲也 北海道大学大学院農学研究院 准教授 ~~【委員】~~
- ~~小林昭裕 専修大学経済学部 教授【委員】~~
- 高橋満彦 富山大学教育学部 教授
- 中川元 ~~斜里町立知床博物館 前館長【委員】~~  
公益財団法人知床自然大学院大学設立財団 業務執行理事
- 石川幸男 弘前大学白神自然環境研究所 名誉教授 ~~【専門委員】~~
- 庄子康 北海道大学大学院農学研究院 准教授 ~~【専門委員】~~
- 間野勉 北海道立総合研究機構 ~~環境→地質研究本部企画調整部 企画課長~~  
エネルギー・環境・地質研究所 専門研究員 ~~【専門委員】~~

2. 地域関係団体

- ウトロ地域協議会
- 知床斜里町観光協会
- 知床羅臼町観光協会
- ~~羅臼町→知床世界自然遺産協議会~~
- 知床ガイド協議会
- (財) 知床財団
- ~~知床エコツーリズム推進協議会~~
- 知床自然保護協会
- 斜里山岳会
- 羅白山岳会
- 羅臼遊漁釣り部会
- 斜里町小型観光船協議会
- 知床羅臼観光船協議会
- (財) 自然公園財団 知床支部
- 知床ウトロ海域環境保全協議会

### 3. 関係行政機関

斜里町

羅臼町

環境省釧路自然環境事務所

林野庁北海道森林管理局

北海道

### 4. オブザーバー

国土交通省北海道運輸局